

2019年度 教育目標・めざす児童像、努力目標

加古川市立東神吉小学校

《本校の教育目標》

心豊かにたくましく、自ら学び続ける児童の育成

《めざす児童像》・すすんで考える子（知）・心豊かな子（徳）・強くたくましい子（体）
 「生きる力」（知・徳・体のバランス）を育む

<p>【確かな学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着 ・個に応じた指導の推進 ・各教科「ことばの力」の育成（自己解決する場面の設定） ・生活科・総合的な学習の時間の充実（かきゅうまろソフト） ・外国語活動の充実 ・朝の学習活動の推進（モジュール学習の導入）（読書タイムの実施） 	<p>【道徳教育及び人権教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人とを繋ぐ「あいさつ運動」の実践 ・道徳教育の推進（「受容」と「対話」のある授業づくり） ・感謝と思いやりを伝える言葉遣いの指導 ・内面理解に基づく生徒指導の推進（学校生活に関するアンケートの活用）（心の相談アンケートの活用） ・人権意識の高揚と自己判断力の育成（相手を認め励まし合う、心豊かな児童） ・共食による望ましい人間関係の育成 	<p>【たくましい体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら鍛える体力づくりの充実（外遊びの日常化） ・体育科の授業の充実 ・食育に関する指導の継続 ・保健指導の徹底と健康教育の充実 ・安全指導の徹底（交通安全指導の徹底）（防災教育の充実）
--	---	--

【特別活動の推進】

・学級活動の推進（事前、事後指導の充実） ・縦割り活動の充実 ・美化活動の推進（「黙々そうじ」の実施）

一人一人の良さが輝く学級づくり ・ 分かる授業づくり

【安全・安心な学校にむけて】

『家庭・学校・地域との連携を図り、地域総がかりの教育を推進する』

— 一家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実がなる —

- ・いじめ防止改善プログラムの実践 ・ 日常点検の充実（校内）
- ・安全確保のための体制づくり（施錠、緊急対応マニュアル等）
- ・登下校の安全確保（「子どもを守る110番の家」「登下校ボランティア」を含む）
- ・地域とともにある学校（地域との積極的な交流）（学校からの情報発信〔学校便り「曙杉」の配布〕〔オープン参観〕）
- ・神吉中学校区ユニット12による校種間連携の推進（カリキュラム連携）

【教職員の指導力向上にむけて】 『教職員は、豊かな人間性と指導力の向上を目指して自己研鑽に努める』

- ・実践的指導力の向上・・・校内研修の充実（研究授業の実施、外部講師の招聘）、研修会への積極的な参加
- ・「分かる授業づくり」の推進・・・「わかる学力」をめざし、協同的探究学習に取り組む
- ・子どもと向き合う時間の確保・・・勤務時間の適正化（定時退勤日の徹底）（校務支援ソフトの活用）
- ・報告、連絡、相談、協力を密にし、確かな協働体制を築く

【今日的課題に対応した教育の推進にむけて】

- ・命と人権を大切にする教育の充実：子どもの心に寄り添った生徒指導。いじめ見逃しゼロ（未然防止と早期対応）不登校への早期対応。温かい思いやりのある言葉遣いの指導。
- ・各教科の「ことばの力」の育成：基本的な学習習慣を身に付けさせ、授業において言語活動を効果的に取り入れながら、確かな学力の向上を図る。
- ・特別支援教育の充実：コーディネーターを中心とした校内支援体制づくり。個別の教育支援計画の作成と実施。交流学習の充実。

『一人一人の良さが輝く学級づくり と 分かる授業づくり を推進する』

学校は児童にとって一番安全であり、安心できる場所であってはならない。特に児童が学校生活のほとんどの時間を過ごす学級は、一人一人の児童にとって居心地のよい場所であり、また、友と豊かに繋がる学びの場であってほしいと願う。児童が楽しく伸び伸びと教育活動に取り組むためには、何よりも児童同士が相手を尊重し、思いやる言葉で繋がっていく仲間づくりが大切である。本年度も地域の教育資源を生かした教育を展開しながら、児童一人一人の良さが輝く学級づくりと、児童が「分かった」「できた」と実感できる授業づくり

に全職員が「チーム東神吉」となって取り組んでいく。